

令和6年度

**大仙市花館財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書**

大仙市監査委員

大仙監査一 7 2
令和7年8月19日

花館財産区管理者

大仙市長 老 松 博 行 様

大仙市監査委員 伊 藤 淳

大仙市監査委員 佐 藤 富 佳

大仙市監査委員 鎌 田 正

令和6年度大仙市花館財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和6年度
大仙市花館財産区特別会計歳入歳出決算について審査したので、その結
果について次のとおり意見を提出する。

目 次

令和 6 年度花館財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

I	適用した監査基準	1
II	財務監査等の種類	1
III	審査の対象	1
IV	審査の着眼点	1
V	審査の主な実施内容	1
VI	審査の実施場所及び日程	2
VII	審査の結果	2
VIII	審査の意見	2
IX	資料（決算の概要）	
	1. 決算額	4
	2. 歳入の決算及び執行状況	5
	3. 歳出の決算及び執行状況	6
	4. 財産調書	9

令和 6 年度大仙市花館財産区特別会計 歳入歳出決算審査意見

I 適用した監査基準

本決算審査は、大仙市監査委員監査基準に準拠して実施した。

II 財務監査等の種類

決算審査（地方自治法第 233 条第 2 項）

III 審査の対象

決算審査の対象となった決算書等は以下のとおりである。

- (1) 歳入歳出決算書
- (2) 歳入歳出事項別明細書
- (3) 実質収支に関する調書
- (4) 財産に関する調書

IV 審査の着眼点

審査に付された決算書等の計数の正確性を確認し、予算執行が適正かつ効率的に行われたかを審査した。

V 審査の主な実施内容

決算書等の計数の正確性については、関係する諸書類との突合により、予算執行の適正性及び効率性については、関係各部署からの提出資料及び聞き取りに基づき、併せて定期監査や例月現金出納検査の結果等も参考に審査した。

(1) 計数の正確性の確認

ア 歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書

予算執行は電算システムで管理され、個々の収入、支出のデータから決算書類を作成されることを踏まえ、土地貸付収入の調定及び収入未済等について、それらが正しく処理されているかを主な観点とした。

イ 財産調書

財産調書については、前年度調書との整合性、当年度の増減の適正性、当年度末残高の実在性の確認を主な観点とした。

(2) 予算執行の適正性及び効率性の審査

予算を所管する部署に対し、資料提出を求め、聞き取りを行った。

特に収入未済額の実在性について、決算書と所管課の管理する台帳等との照合を行った。

VI 審査の実施場所及び日程

(1) 実施場所

予備審査は監査委員事務局、本審査は神岡支所情報活動室において実施した。

(2) 日程

6月 2日 管理者から審査依頼

決算審査実施通知

6月27日 予備審査（諸帳簿等確認）

7月 8日 監査委員による本審査（対面審査）

8月 4日 審査意見 監査委員合議

8月 6日 関係部長講評

8月19日 審査意見書の提出

VII 審査の結果

審査に付された決算書等は、前記IV及びVにより審査した限りにおいて、法令に適合し、かつ正確であると認める。

また、予算執行については後述のⅧ（1）指摘に記載した事項を除き、おおむね適正であると認める。

VIII 審査の意見

(1) 指摘

・補助金に関する予算の調製及び執行について

平成18年度の決算審査から昨年度まで19年間にわたり監査委員の意見として、「財産区の補助」は財産区の財産の維持管理上必要な場合に限られていることから、財産区住民の団体等への補助金については、当該経費を繰出金として市の一般会計に繰り出し、市の事業として行うなど、適切な方法により支出するよう求めてきたが、令和6年度においても財産区住民の団体等に対し3,859千円を財産区の予算から直接交付しており改善がなされていない。

よって改めて指摘すると、上記補助金の支出については、スポーツ振興団体や社会福祉協議会及び町内会等の団体への補助であり「財産区の財産の維持管理上必要な場合」の補助に該当しないと判断されることから、財産区管理者は当該経費を財産区から繰出金として市の一般会計に一度繰り出し、市の事業として行うなど適切な予算を調製し支出するよう是正されたい。

なお、補助金（諸支出金）以外の財産区の支出、即ち財産区議会費及び財産管理費の合計6,945,534円の支出については、これまでの支出方法で特に指摘はない。

(2) 検討・要望

・土地賃貸料について

土地貸付収入に収入未済額が 169,714 円計上されている。これは滞納者 2 名に対する賃貸料である。いずれの滞納者もここ数年間にわたり入金がないことから、滞納者及び相続人への納付折衝、時効中断などの債権管理を強化されたい。

IX 資料（決算の概要）

1. 決算額

（1）決算額及び収支

（単位：円）

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	備 考
歳 入	12,106,000	43,138,165	31,032,165	調定額 43,307,879 不納欠損額 0 収入未済額 169,714
歳 出	12,106,000	10,801,534	△ 1,304,466	翌年度繰越額 0 不用額 1,304,466

歳入歳出差引額（形式収支）(ア) 32,336,631 円

繰越事業の財源として翌年度に繰越す額(イ) 0 円

実質収支(ウ) ((ア)-(イ)) 32,336,631 円

前年度の実質収支(エ) 34,087,501 円

単年度収支 (ウ)-(エ) △ 1,750,870 円

（2）決算額の推移

（単位：円、％）

年 度	R02	R03	R04	R05	R06
予 算 現 額	29,834,000	10,840,000	14,964,000	11,613,000	12,106,000
指数	100.0	36.3	50.2	38.9	40.6
歳入決算額	56,990,768	43,797,289	44,207,274	43,718,811	43,138,165
指数	100.0	76.8	77.6	76.7	75.7
歳出決算額	23,908,104	8,720,020	10,191,153	9,631,310	10,801,534
指数	100.0	36.5	42.6	40.3	45.2
形 式 収 支	33,082,664	35,077,269	34,016,121	34,087,501	32,336,631
指数	100.0	106.0	102.8	103.0	97.7
翌年度に繰越すべき財源	0	0	0	0	0
実 質 収 支	33,082,664	35,077,269	34,016,121	34,087,501	32,336,631
前年度の実質収支	25,746,260	33,082,664	35,077,269	34,016,121	34,087,501
単 年 度 収 支	7,336,404	1,994,605	△ 1,061,148	71,380	△ 1,750,870

決算額及び収支に関する5か年度の推移は前表のとおりである。

令和6年度の実質収支から前年度の実質収支を差引いた単年度収支は1,750,870円の赤字である。

2. 歳入の決算及び執行状況

(1) 決算額

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入割合		
						対予算	対調定	構成比
財 産 収 入	9,190,000	9,214,807	9,045,093	0	169,714	98.4	98.2	21.0
繰 越 金	2,915,000	34,087,501	34,087,501	0	0	1,169.4	100.0	79.0
諸 収 入	1,000	5,571	5,571	0	0	557.1	100.0	0.0
計	12,106,000	43,307,879	43,138,165	0	169,714	356.3	99.6	100.0

歳入の決算額は上表のとおりである。

(2) 款毎の前年度比較

1 款 財産収入

(単位：円、%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入割合	
						対予算	対調定
R06	9,190,000	9,214,807	9,045,093	0	169,714	98.4	98.2
R05	9,151,000	9,853,755	9,702,491	0	151,264	106.0	98.5
比較増減	39,000	△ 638,948	△ 657,398	0	18,450	△ 7.6	△ 0.3
増減率	0.4	△ 6.5	△ 6.8	0.0	12.2	—	—

前年度と比較して収入済額は6.8%減少した。

収入未済額として計上されたものは土地貸付料であり、令和元年度～令和6年度における9件分である。

2款 繰越金

(単位：円、%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入割合	
						対予算	対調定
R06	2,915,000	34,087,501	34,087,501	0	0	1,169.4	100.0
R05	2,461,000	34,016,121	34,016,121	0	0	1,382.2	100.0
比較増減	454,000	71,380	71,380	0	0	△ 212.8	0.0
増減率	18.4	0.2	0.2	0.0	0.0	—	—

前年度と比較して収入済額は0.2%増加した。

3款 諸収入

(単位：円、%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入割合	
						対予算	対調定
R06	1,000	5,571	5,571	0	0	557.1	100.0
R05	1,000	199	199	0	0	19.9	100.0
比較増減	0	5,372	5,372	0	0	537.2	0.0
増減率	0.0	2,699.4	2,699.4	0.0	0.0	—	—

前年度と比較して収入済額は2699.4%増加した。

3. 歳出の決算及び執行状況

(1) 決算額

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率	構成比
議 会 費	6,879,000	6,220,422	658,578	90.4	57.6
財 産 費	1,068,000	722,112	345,888	67.6	6.7
諸 支 出 金	3,859,000	3,859,000	0	100.0	35.7
予 備 費	300,000	0	300,000	0.0	0.0
計	12,106,000	10,801,534	1,304,466	89.2	100.0

歳出の決算は前表のとおりである。議会費と財産費で歳出決算額の 64.3%を占めている。

(2) 款毎の前年度比較

1 款 議会費

(単位：円、%)

年 度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
R06	6,879,000	6,220,422	658,578	90.4
R05	6,372,000	5,566,393	805,607	87.4
比較増減	507,000	654,029	△ 147,029	3.0
増減率	8.0	11.7	△ 18.3	—

前年度と比較すると支出済額は 11.7%増加している。支出の主な内訳は、議員報酬 4,128,000 円（前年度 4,128,000 円：同額）、交際費 147,500 円（前年度 107,450 円：40,050 円増）、議会活動費 554,930 円（前年度 402,620 円：152,310 円増）、議会管理費 1,381,992 円（前年度 920,323 円：461,669 円増）などである。

また、予算現額に占める不用額の割合は 9.6%（前年度 12.6%）である。

2 款 財産費

(単位：円、%)

年 度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
R06	1,068,000	722,112	345,888	67.6
R05	1,165,000	500,917	664,083	43.0
比較増減	△ 97,000	221,195	△ 318,195	24.6
増減率	△ 8.3	44.2	△ 47.9	—

前年度と比較すると支出済額は 44.2%増加している。支出の内訳は、森林保育経費 343,200 円（前年度 121,000 円：222,200 円増）、事務費等 369,790 円（前年度 370,795 円：1,005 円減）、森林組合負担金 9,122 円（前年度 9,122 円：同額）である。

予算現額に占める不用額の割合は 32.4%（前年度 57.0%）である。

3 款 諸支出金

(単位：円、%)

年 度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
R06	3,859,000	3,859,000	0	100.0
R05	3,776,000	3,564,000	212,000	94.4
比較増減	83,000	295,000	△ 212,000	5.6
増減率	2.2	8.3	—	—

前年度と比較すると支出済額は8.3%増加した。諸支出金の内容は住民団体等に対する補助金である。

補助金の内訳は次のとおりである。なお前年度の実績は24件、3,564,000円である。

補助金及び負担金の支出内容

(単位：円、件)

名 称	金 額	件 数
花 館 ス ポ ー ツ 振 興 会 補 助 金	462,000	1
花 館 地 区 社 会 福 祉 協 議 会 補 助 金	216,000	1
花 館 地 区 老 人 ク ラ ブ 連 絡 協 議 会 補 助 金	428,000	1
花 館 地 区 子 ど も 会 育 成 連 合 会 補 助 金	108,000	1
花 館 地 区 町 内 部 落 会 館 運 営 費 補 助 金	1,455,000	15
花 館 小 学 校 部 活 動 費 補 助 金	540,000	1
花 館 地 区 コ ミ ュ ニ テ ィ 会 議 補 助 金	100,000	1
花 館 地 区 町 内 会 連 絡 協 議 会 補 助 金	50,000	1
花 館 小 学 校 創 立 150 周 年 記 念 事 業 補 助 金	500,000	1
計	3,859,000	23

4 款 予備費

(単位：円、%)

年 度	予算額			支出済額	不用額
	当初	予備費支出	現計		
R06	300,000	0	300,000	0	300,000
R05	300,000	0	300,000	0	300,000
比較増減	0	0	0	0	0
増減率	0.0	—	0.0	0.0	—

令和 6 年度は予備費支出がなかった。

4. 財産調書

(1) 公有財産

①土地及び建物

(単位：㎡)

区 分		前年度末現在高	年度中増減高	決算年度末現在高
土 地	山 林	499,599.70	0.00	499,599.70
	宅 地	3,501.50	0.00	3,501.50
	原 野	1,261,725.71	0.00	1,261,725.71
	池 沼	1,599.00	0.00	1,599.00
	田 畑	11,225.51	0.00	11,225.51
	そ の 他	481,337.00	0.00	481,337.00
	計	2,258,988.42	0.00	2,258,988.42
建 物		14.04	0.00	14.04

②山林（普通財産）

区 分			単位	前年度末現在高	年度中増減高	決算年度末現在高
所有	面積	直 営	m ²	720,100.00	0.00	720,100.00
		貸付分収 市行林	m ²	49,586.77	0.00	49,586.77
		合 計	m ²	769,686.77	0.00	769,686.77
	立木	直 営	m ³	杉 21,271.00	0.00	21,271.00
		貸付分収 市行林	m ³	杉 261.00	0.00	261.00
		合 計	m ³	杉 21,532.00	0.00	21,532.00

③出資による権利

（単位：円）

区分	前年度末現在高	年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
仙北西森林組合出資金	344,000	0	0	344,000

（2） 物品（100 万円以上）

（単位：台）

区 分	前年度末現在高	年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
自 動 車	1	0	0	1

（3） 基金

○ 大仙市花館財産区財産維持管理基金

（単位：円）

区 分	前年度末現在高	年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
現 金	290,000,000	0	0	290,000,000